

# 平和のプロセスを前へ

## 歴史的な会談を 心から歓迎する

志位和夫委員長は談話で、米朝首脳会談に歓迎を表明すると同時に次の点を求めています。

●今回の会談は「非核化と平和体制構築に向けたプロセスの開始」。「今後も首脳会談を含め交渉を継続し、共同声明の合意を速やかに具体化し、誠実に履行するための真剣で持続的な努力が必要」「関係各国、国際社会の協調したとりくみ」「平和

を求め、核兵器のない世界を求める諸国民の世論と運動が不可欠」

●日本政府には、「日朝平壤宣言にもとづき…両国間の諸懸案を包括的に解決し、国交正常化のための努力をはかり、開始された平和のプロセスを促進する役割を果たすこと」を要求。「拉致問題の解決も、そうした努力のなかに位置づけてこそ道が開ける」と述べる。

折り目

# 米朝 初の首脳会談



12日、シンガポールのカペラホテルで合意文書に署名後、握手を交わす米朝両首脳。12日放映NHKテレビより

## 「完全非核化」「安全保証」合意

トランプ米大統領と北朝鮮のキムジョンウン金正恩国務委員長は12日、シンガポールで史上初の米朝首脳会談を行い、共同声明に署名しました。共同声明で金氏は「朝鮮半島の完全な非核化への強固で揺るぎない決意」を表明し、トランプ氏は「北朝鮮に対する安全の保証の提供」を約束。米朝両国が「平和と繁栄を望む両国民の願いに従って新しい米朝関係を樹立」し、「朝鮮半島に永続的で安定した平和体制を構築」することを宣言しました。

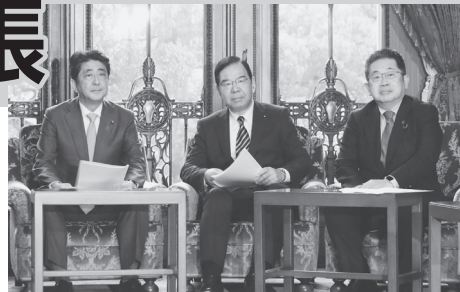
日本共産党の志位和夫委員長は同日談話を発表。両首脳が「両国関係を敵対から友好へと転換させるために努力することで合意したことに対し、心からの歓迎」を表明。「平和のプロセスが成功をおさめるならば、世界史の一大転換点となり、地域の情勢を一変させるものとなる」とし、「引き続きあらゆる努力を続ける」と述べています。(4面につづく)

## 日本共産党

## 対話による平和解決を一貫して主張

共産党は北朝鮮の核・ミサイル開発を厳しく批判するとともに、一貫して対話による平和解決を呼びかけ、行動してきました。

4月上旬には、米韓中朝日口の政府に①朝鮮半島の非核化と北東アジア地域の平和体制づくりを一体的に



安倍首相(左端)と会談する(右)志位委員長、小池書記局長。4月9日

進めること②相互の信頼を高めながら段階的に進めることを要請しました。米朝首脳会談はこの要請の方向と合致しています。